



新しく完成した東グラウンドと部室棟2で活動する体育会所属の学生

## 摂南大学広報誌

### 特集

- キャンパスライフがますます充実 ……P.02  
寝屋川キャンパスの整備進む
- 就職内定者インタビュー ……P.12

さ  
や  
け  
き

2021 MAR  
No. 14



# キャンパスライフがますます充実

## 寝屋川キャンパスの整備進む

今春、3号館と4号館に備えていた機能の一部などを集約した新たな学び舎が「2号館」として生まれ変わりました。

新グラウンドと2つの部室棟も誕生。

より快適で充実した大学生活の実現をサポートします。

キャンパスが  
広く快適に！

小林 美咲さん  
ラグビー部  
法学部  
法律学科4年

隈元 添太さん  
ラグビー部  
法学部  
法律学科3年

東グラウンド・部室棟2

体育練習場・部室棟3

2号館

充実の施設が  
続々完成！

## 2号館

食堂やテラス、  
ラーニングスペースなどを備えた  
交流と学習の新拠点

2月に2号館が完成しました。1階の食堂には、グループ利用・個人利用などさまざまなシチュエーションに合わせて、ソファや電源コンセント付カウンターテーブルを配置しており、個人学習スペースとしても活用できます。天気の良い日には、2階の広々としたデッキガーデンでゆったりと過ごすこともできます。2階のラーニングcommonsは可動式の机・椅子やホワイトボードなどを配備しており、グループ学習に最適な環境です。その他学生部学生課やグローバル教育センター、常翔ウェルフェア総合サービスセンターなどを集約しています。いずれの部屋もガラス張りで見通し開放的な空間です。

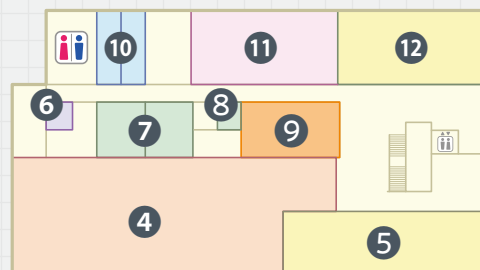
倉中 稚菜さん  
陸上競技部  
経営学部  
経営学科3年

岸本 一真さん  
陸上競技部  
外国語学部  
外国語学科3年

1 食堂

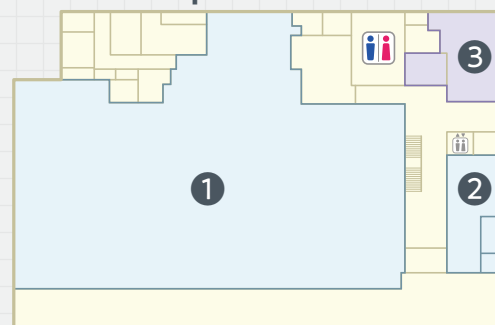


広々とした2階フロア付近



Floor map

2F



1F

- 1階
- ① 食堂
- ② コンビニ
- ③ 常翔ウェルフェア総合サービスセンター
- 2階
- ④ デッキガーデン
- ⑤ ラーニングセンター※(現・学習支援センター)
- ⑥ 礼拝室
- ⑦ 多目的室
- ⑧ ミーティングルーム
- ⑨ グローバル教育センター※(現・国際交流センター)
- ⑩ 教員室
- ⑪ 学生部学生課
- ⑫ ラーニングcommons

※2021年4月からの新名称です。

④ 開放的なデッキガーデン







## 卒業・修了生へ、入学生へ 不確実な時代を乗り越えるために

一皆さん自身が輝くこと、それが素晴らしい場と時代を創ること一



学長  
荻田 喜代一  
Ogita Kiyokazu

後援会（保護者・保証人）、企業の皆さまなどの真心のこもったご支援は、困窮学生の生活支援や学内感染拡大防止のための衛生物品の購入に充当させていただきました。

2021年春、学位記を授与される皆さん、本学に入学する皆さん、誠におめでとうございます。また、関係者の皆さまには心よりお祝い申し上げます。コロナ禍の中、大変不安な日々を皆さんの努力で乗り越え、今日を迎えられたことを本当にうれしく思います。コロナ禍により全世界の経済活動をはじめとする社会活動や教育環境の大変革が起きました。特に、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）の進歩・普及などを中心としてSociety5.0時代への移行が急速に進んでいます。その変革の時代に対応するために、一人ひとりが日々学び続け、次の時代のリーダーとして成長されることを期待しています。

進化論を唱えたチャールズ・ダーウィンは、「生き残る種とは、最も

強いものではなく、最も知的なものでもない。それは変化に最も対応したものである」という考えを示したと言われています。「変革への対応」を考えると、「変化への適応」とは「我々が変化して環境に適応することに加えて環境をより良く変化させて適応すること」とも言えます。ここで、一つの逸話を紹介しましょう。

ある町に一人の旅人が来た。町の入り口に老人が座っていた。旅人はその老人に「この町はどんな町か？」と尋ねた。老人は「あなたのいた町は？」を尋ね返した。すると旅人は「ろくな町ではなかった」と答えた。老人は「この町も同じですよ」と。別の日、他の旅人が老人に同じようにこの町のことを尋ねた。老人はその旅人にも同じ質問を返したところ、その旅人は「大変素晴らしい町でした」と答えた。すると老人は「この町もあなたがいた町と同じです」と（藤尾秀昭著『WEB版小さな人生論ノート』）。

老人は、「この町をどう捉えるかはあなた次第です」と伝えたかったのでしょう。自分の置かれた場所を素晴らしくするのも、そうでなくするのも自分次第ではないでしょうか。不確実な時代にあって、皆さん自身が輝くこと、それが素晴らしい場と時代を創ることです。本学に入学し、そして社会に巣立つ皆さんは、必ずやひかり輝く人材（財）として不確実な時代の社会で大いに活躍されることと信じています。

### index

#### 特集

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| キャンパスライフがますます充実<br>寝屋川キャンパスの整備進む | 02 |
| 学長挨拶                             | 04 |
| 摂南大学の特色ある取り組み                    | 05 |
| 学生生活／交流事業／環境保全                   |    |

#### 学部TOPICS

|                  |    |
|------------------|----|
| 法学部・外国語学部        | 06 |
| 経済学部・経営学部        | 07 |
| 理工学部             | 08 |
| 薬学部・看護学部         | 09 |
| 農学部              | 10 |
| 情報教育支援・地域連携・学生生活 | 11 |

#### 特集

|             |    |
|-------------|----|
| 就職内定者インタビュー | 12 |
| 就活・進路内定状況   | 14 |
| 奨学金出願書類配布日程 | 14 |
| 後援会         | 15 |

国内外で感染の広がりをみせている新型コロナウイルス感染症への対応について、本学では、全学生・教職員への感染リスクを最小限にするべく、最新情報の入手と注意喚起に努めてまいります。今後予定している各行事などにつきましては、状況を注視しつつ、その動向・変化に応じて変更となる可能性があります。新しい情報は本学ホームページにて随時お知らせします。

# 摂南大学の特色ある取り組み

## 学 生活 Student Life

### 【LST】オンラインで「摂大ガイド」「学科別交流会」を開催

昨年9月8日・9日に、LST(ラーニング・サポート・チーム:教職員と協働して学修をサポートする学生スタッフ組織)主催、教務部教育イノベーションセンター後援で、オンラインイベント「摂大ガイド」「学科別交流会」を開催しました。このイベントは、例年4月に実施している初年次教育プログラムである学修キックオフ・セミナーを、新型コロナウイルス



ルス感染症拡大の影響で延期していたことを踏まえ、新入生の学生生活や授業に対する不安解消を目的に、LSTが教職員と協働して企画・運営しました。

「摂大ガイド」では、キャンパスライフや施設などに関する大学紹介動画の作成、新入生から寄せられた質問への回答を行いました。LSTが企画から取材先との交渉、撮影、編集まで行った大学紹介動画は、入学早々キャンパスに通うことがままならない状況となった新入生にとって、これからの大学生活への期待を膨らませる内容となりました。

「学科別交流会」は、「Microsoft Teams」を活用し、同じ学科に所属する新入生同士が、



チーム・ビルディングを目的としたさまざまなワークに取り組むもので、5学部11学科から69人が参加しました。オンラインで、授業を通じたコミュニケーションとは異なる時間を共有できたことで、参加者からたくさんの笑顔が見られました。

今回のイベントは、新入生はもとより、企画・運営に参加した在学生にとっても、コロナ禍におけるオンラインを通じた学生同士の交流や学び合いの方法を考える良い機会となりました。

## 交 流事業 Exchange Program

### 国際交流 「オンライン日本文化オータムプログラム」に6カ国から120人以上が参加

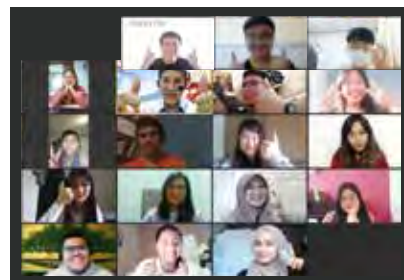
国際交流センターでは、昨年10月から11月にかけて、「オンライン日本文化オータムプログラム」を実施しました。このプログラムは国際交流センターが、コロナ禍で来日できない本学協定校の学生に向けて企画したもので、全12回の開講に6カ国から延べ120人以上の参加がありました。さらに、本学学生18人も参加した交流会では学生同士のコミュニケーションも盛んに行われ、オンラインで国際交流を楽しむことができました。

国際交流センターの梅野将之講師が独自の教材を作成し英語の翻訳を加えるなど、より分かりやすくする工夫をして好評を得ました。プログラムの中には、落語、盆踊り、柔道、大阪の紹介などの講義もあり、その講師として、盆踊りでは地元寝屋川市の日本舞踊愛好会である秀麗会大阪支部の

皆さんを、柔道では本学スポーツ振興センター所属で世界柔道形選手権大会の金メダリストである横山喬之講師を招へい。参加者が実際に踊りや柔道を楽しみました。



今回のプログラムでは、オンラインでの実施により、メキシコやタイ、インドネシアなど遠方の地域からの参加が多く、特にメキシコからは延べ80人以上の参加がありました。さらに協定校に無料でプログラムを提供したことも参加を促しました。



国際交流センター長の鳥居祐介教授(外国語学部)は今回の成果について、「協定校の学生の皆さん、本学の学生スタッフ、教職員の国境を越えたチームワークにより、コロナ禍に負けない国際協働学習の一つのあり方を示すことができました」と振り返りました。同センターでは、今回の企画を今後のオンライン講座の提供や、協定校への留学生募集に活かしていきます。

## 環 境保全 Environmental Protection

### 【C.C.S】寝屋川キャンパスにペットボトルツリーが点灯

昨年12月9日、寝屋川キャンパスにペットボトルで作ったクリスマスツリー3本を設置、点灯しました。これは、C.C.S.(キャンパス・クリーン・サポーター:学内の環境改善に取り組む学生のボランティア団体)が、環境への取り組みに関する理解促進を目的として毎年行っているもので、冬のキャンパスを

彩る恒例企画となっています。使用済みのペットボトルを使用してツリーを組み立て、消費電力を抑えたLEDのライトを使用。コロナ禍の影響もあり活気あるキャンパスから遠のく日々が続いていましたが、このペットボトルツリーの光が、キャンパスにひとときの温かな安らぎをもたらしました。







Faculty of Law

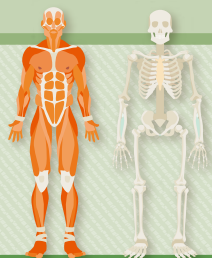
## 法学部

### スポーツ法政策コースの学生が スポーツプログラマー 資格取得を志願

法学部では、法律学に関連するさまざまな資格取得を積極的に支援しています。その一つに、公益財団法人日本スポーツ協会および日本体育施設協会が認定しているスポーツプログラマーがあります。資格を取得するためには、日本スポーツ協会が実施するスポーツ

指導者養成講習会(共通科目135時間および専門科目44時間)を受講後、資格検定試験に合格する必要があります。

本学部の4コースのうち「地域政策コース」と「スポーツ法政策コース」では、この講習会の内容に対応したカリキュラムを準備しており、該当する授業科目の修得により講習会受講が免除されます。時間と費用を節約して効率的に



### スポーツプログラマーとは？

健康や体力の維持と向上について  
専門的な知識と技能を持ち、  
個々人に適した身体づくりの実技指導と  
活動プログラムを提供するための資格。



### ▶主な仕事

地域のスポーツクラブやフィットネスジムで、一人ひとりの体力や目的に合わせた安全なトレーニング方法を提供します。

### ▶主な就職先と業務内容

- 就職先  
スポーツスクール、フィットネスジム、スポーツクラブ
- 業務内容  
運動の指導  
トレーニングマシンや器具の説明、接客  
データ入力や書類の作成  
トレーニングマシンのメンテナンス など

### ▶スポーツプログラマーに求められること

- さまざまな人の健康や元気な生活を支えることにやりがいを感じる人
- スポーツの経験や知識を活かせる人
- 科学的な理論に基づく正確な指導ができる人
- コミュニケーション能力がある人



Faculty of Foreign Studies

## 外国語学部

### アメリカからの遠隔特別講義

昨年9月29日、英語科教職課程を履修する3・4年次生を対象に、本学特任講師だったこともあるスティーブン・マークビ博士による特別講義として、アメリカからの遠隔により実施しました。テーマは「Audience Profile: How Should I Teach What to Whom? 〜どんな相手に何をどう教えるのか〜」です。グローバルな英語教育の経験に基づき、「学習者が置かれた社会状況の多様性と教育の関係」を題材に、参加学生と英語での質疑応答を交えながら進行了しました。教職志望学生にとって、学習者の立場により適した教え方を考える機会となりました。

### インドネシア・ストモ博士大学の 学生とオンライン交流

昨年10月14日、「総合インドネシア語b(1)」の授業を通して、協定校のインドネシア・ストモ博士大学の学生とオンラインで合同授業を行いました。

した。本学学生はインドネシア語で、ストモ博士大学の学生は日本語でコミュニケーションを図りました。ストモ博士大学の学生たちは街中のインターネットカフェからアクセスしていたため、バイクの音や人々の話し声などが聞こえ、現地の雰囲気伝わってきました。オンラインによって距離を越え、顔を合わせて交流する喜びを実感できた良い機会となりました。

### 日本語教育実習生が海外協定大学の 学生にオンライン授業を実施



6カ国の学生が参加

昨年10月17日、日本語教員養成課程を履修している4年次生10人が、海外の協定大学(メキシコ、マレーシア、インドネシア、台湾、韓国)の学生約20人にオンラインで日本文化を紹介する授業を行いました。本学の国際交流センター主催による「日本文化オータムプログラム(詳細は本誌P.5に掲載)」の一環として実施したもの

で、「大阪弁」「観光地」「食べ物」「祭り」の4つのテーマについて紹介しました。大阪への興味や関心も高まり、「コロナ禍が落ち着いたら摂南大学に留学したい」という声も寄せられました。日本語教育実習生にとっても、12月に学内で行った外国人留学生対象の日本語教育実習に向けた貴重な経験ができました。

### 春休み海外オンラインプログラム

外国語学部では、2月〜4月にオンライン留学を実施します。中国語圏は上海外国語大学、台湾師範大学、英語圏はカナダのサイモンフレイザー大学とカルガリー大学で、12人が参加しています。専攻言語や学年を問わず参加でき、1年次生から3年次生は単位認定対象です。

### 国内他大学とのプレゼン発表会に参加

英語専攻2年次の「ESP(国際教養)」では、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が海外の人に日本文化を紹介した英文エッセー「Exotics and Retrospectives: 異国風物と回想」を題材に動画を制作し、昨年12月12日、国内7大学が参加する「第25回オール・コミュニケーション・フェスティバル」に出品しました。

# 経済学部

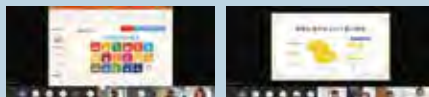
## 研究活動発表会を開催

1月20日、経済学部研究活動発表会(全学年次対象)を開催しました。今年度は、恒例行事となっている「ゼミ対抗プレゼンテーション大会」と「卒業研究論文発表会」の合同開催とし、オンラインで計21チームが発表しました。



発表は、パワーポイントを用いてプレゼンテーション形式で行い、テーマは「地域経済循環」や「日本経済の制度」「観光産業の行方」、さらには「SDGs(持続可能な開発目標)」に関するものと多岐にわたりました。4年次生は大学4年間の集大成として作成した卒業論文を発表、1～3年次生はゼミ活動の学習成果を

発表しました。いつもと違った緊張感を味わいながら、今後の学習への意欲を高める機会となりました。発表内容は、教員が審査委員として評価し、最優秀賞などが選出・表彰されました。



オンラインだからこそ  
伝わりやすさに  
各自工夫し発表

## オンラインによる イタリア研修を実施

経済学部では、毎年2月にイタリア・ミラノ市にあるIULM大学(本学協定校)で「地域経済実践演習(担当:後藤和子教授・原田裕治准教授)」を実施しています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で渡航はできませんでしたが、IULM大学の協力により、2月17日～19日の3日間、オンラインで研修を実施しました。



ミラノは、イタリアで最も経済発展している都市の一つであり、ファッションやデザインなどの国際見本市が開催される世界的な流行発信地でもあります。今回の研修でも、こうしたイタリアの文化産業について、英語で双方向授業が行われました。IULM大学の多彩な教授陣が「文化産業とは?」「イタリアの食とニューロマーケティング」「メイド・イン・イタリア」のテーマで、イタリアの思想とファッションや食などについて学生に語り掛けました。受講した学生たちは具体的な事例を交えた講義に興味深く聞き入り、大いに刺激を受ける時間となりました。



# 経営学部

## オンラインによる 「インフラデータチャレンジ2020 アイデアソン」に学生が参画

### 経営学科

昨年9月12日と10月10日、土木学会(土木情報学委員会・インフラデータ・サービス共創研究小委員会)主催の「インフラデータチャレンジ2020アイデアソン『まちづくりとインフラデータ』」がオンラインで開催され、塚田義典講師ゼミの学生が参加しました。

「インフラデータチャレンジ」は、インフラに関するビッグデータやICT(情報通信技術)を活用して社会課題解決のアイデア創出を目指す取り組みで、「アイデアソン」とは特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、結果を競うイベントです。

開催当日は、初めに塚田講師と合同参加した大阪工業大学の山本雄平講師(情報科学部)がインフラデータの説明や活用事例を紹介。続いて、学生が5、6人のグループに分かれ、

アイデア創出にチャレンジしました。参加した学生からは、「他大学のバックボーンの違う人とのワークを通して、さまざまな考え方や知識を得られた」「非対面でのコミュニケーションの難しさを改めて痛感し、スキルアップを図りたいと思った」などの感想がありました。経営学部ではこうしたコロナ禍にでも展開できる活動を通して「誰一人として置き去りにしない」教育を実践し教育効果を高めています。



オンラインで  
行われた  
アイデアソン

共有画面で  
意見を可視化し、  
方向性を議論



## 企業とのコラボプロジェクト 交流を通じた実践的な学び 経営情報学科

田中祥司准教授ゼミの学生たちが、2019年7月からバッグメーカーと、昨年9月から下着メーカーと製品開発プロジェクトに取り組んでいます。

マーケティング・消費者行動を研究する田中

ゼミでは、消費者の感情や行動を理解し、企業が効率的かつ効果的に製品やサービスを販売するための仕組みについて学んでいます。このプロジェクトでは、実践的で正解のない課題を通して学生の主体的に学ぶ姿勢を引き出し、問題解決へのアプローチ方法を身に付けることを目的としています。

企業とのプロジェクト活動では、時に大学での学びだけでは得られない経験や指導を受けることもあります。バッグメーカーの経営者から「もっといろんな経験をしなさい」「経験の数だけ良い製品が生まれる」と激励を受けながら、コラボレーション製品の開発を目指しています。下着メーカーではコロナ禍でさまざまな制約がある中、学びの場の提供に賛同いただき、学生たちは消費者ニーズの把握に取り組んでいます。

いずれの企業も学生の学びを第一に考えて協力をいただいており、マーケティングに関する知識を深めることはもちろん、企業の方々との交流を通じて、さらに大切な主体的・協働的に社会に働き掛ける力や意欲を養うことを目指しています。



バッグの製造工程



# 理工学部

## コロナ禍における 理工学部の対応について

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入学宣誓式の中止に始まり、前期授業も約1カ月半遅れでの遠隔授業による開始となりました。理工学部新入生の約9割はパソコンとWi-Fi環境を有し、遠隔授業に対応できる状況でした。一方、授業開始までにパソコンや通信環境などが整わない学生に対しては、対面での面談の実施や情報処理室の利用、パソコンの貸出しなどの案内を行い対応しました。講義科目は遠隔授業を中心に実施しましたが、理工学部は実習、演習、実験系の科目があり学修の修得効果を高めるために、感染防止対策を施したうえで対面授業を実施しました。後期授業では、講義科目においても対面授業への切り替えを行い、全学科の専門科目の51%を対面授業としました。



3密対策を施した演習授業



デザイン系学生と教員が力を合わせ制作したオリジナル・シールド

## 白須講師が グッドデザイン賞を受賞 建築学科

昨年10月1日、白須寛規講師が設計した「並びの住宅」が、日本デザイン振興会主催のグッドデザイン賞「GOOD DESIGN AWARD 2020」を受賞しました。受賞作品「並びの住宅」は2棟が並び2世帯の親族が居住する住宅として、それぞれが独立しているながらもほど良いつながりを感じ合える2住戸のあり方を追求したものです。

## 白須講師のコメント

街を観察すると、通りに面した壁の位置が揃っていたり、外壁の色が似通っていたり、植栽が連続していたりと、敷地に限定されない緩いまとまりを見つけることができます。この「境界を越えたまとまり」が2つの住宅を緩やかにつなげることができるのではないかと考えました。外観だけでなく建物の内部まで展開させて、部屋と部屋、屋外と屋内、そして隣り合う建物同士の関係性を縫い合わせるようにつくっていききました。

日頃から授業で新しいことに挑んでいく学生を見て、可能性を追求することの尊さを感じています。この住宅でも、街を観察することで得られた「境界を越えたまとまり」という新しい手法を設計に取り込むことに挑戦しています。



全景:2つ同時に設計した緩やかにつながり合う2世帯2住戸



南側住戸リビング:(写真奥から)ダイニングキッチンにつながる土間の延長にある大きな空間



北側住戸土間リビング:スキップフロアの立体的な構成

## 流れを可視化する新技術の開発 機械工学科

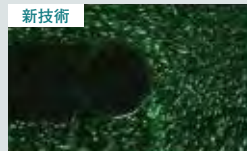
堀江昌朗教授が液体や気流の流れを可視化するための「紫外線励起蛍光粒子」を開発しました。「紫外線励起蛍光粒子」は、目に見えない紫外域の励起光で赤、青、緑の3色に発光させることができるため、これまで可視化で問題となっていた励起光の反射の影響を受けずに、液体・気流の流れだけを見ることができるようになりました。これにより、これまで数値シミュレーションでしか推測できなかったさまざまな条件下での流れを実際に目で確認できるようになります。本研究は昨年8月、2020年度可視化

情報学会技術賞を受賞するとともに、9月には科学技術振興機構(JST)の研究成果最速展開支援プログラム「A-STEPトライアウト」に採択され、産業用途での実用化に向けた研究も進められています。

従来技術



新技術

「紫外線励起蛍光粒子」による  
円柱周りの流れの可視化例

## 「琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏 シンポジウムin大阪」 兼 「第22回近畿水環境交流会」を開催 都市環境工学科

昨年11月21日、大阪工業大学梅田キャンパスを会場に、澤井健二名誉教授(理工学部)が実行委員長を務める琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム実行委員会主催の「琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム」兼「第22回近畿水環境交流会」を開催しました。コロナ禍による感染予防対策を徹底する中、約90人が参加しました。

近年の想定を超える水災害に対し、あらゆる関係者(国・都道府県・市町村・企業・住民など)により流域全体で行う「流域治水」が求められています。本シンポジウムでも、国土交通省近畿地方整備局河川部長の豊口佳之氏による、国土交通省が掲げる流域治水を含めた治水行政に関する最近の動向をテーマに講演がありました。愛知大学地域政策学部の飯塚公藤准教授からは、明治期以降の淀川流域の舟運の変遷に関する、GIS(地理情報システム)を用いた時空間分析の研究について発表がありました。総合討論では、講演者と参加者が淀川流域の将来の治水対策や舟運復活に向けて、熱心な質疑応答や提案を行いました。舟運復活には観光目的だけでなく、防災時の利用や物資輸送の実質的な利活用が鍵になるとして、治水対策と舟運が関係していることなども議論されました。



治水行政に関する講演をする豊口氏(左)



# 薬学部

## 資生堂ジャパンによる 「オンラインビューティー講座」を開催

昨年10月30日、枚方キャンパスと資生堂ジャパン(株)(東京都港区)をつないだ同社とのコラボレーションイベント「オンラインビューティー講座」を開催し、薬学部・看護学部・農学部の学生31人が参加しました。



講座では資生堂の講師が正しいスキンケアとメイクの方法、オンライン時ならではのメイクポイントをはじめ、体をほぐすストレッチや、表情筋を鍛えほうれい線を防ぐ方法などを紹介。学生からは「1日2回の洗顔が重要だと再認識した」「スキンケアの方法が我流になっていたので、乳液やBBクリームの正しい塗り方が分かり

参考になった」「オンライン時に特化したメイクのコツや眉毛の正しい描き方はすぐにでも実践したい」などの感想が寄せられました。



## 「発達障がい学生が抱える問題に関する講演会」を開催

昨年11月11日、枚方キャンパスでFD・SD\*活動の一環として、薬学部FD委員会による発達障がい学生に関する講演会を開催しました。



講師には関西医科大学総合医療センター小児科の石崎優子教授を招へいし、「発達障がい学生が抱える問題を理解するために」について

講演がありました。質疑応答では、発達障がい学生への対応や大学が組織として行うべき配慮に関する質問が出るなど、学生の多様性に対応するインクルーシブな体制への知識を深めることができました。

※FD(ファカルティー・デベロップメント)とは、教員の授業内容・方法を改善し教育の質的向上を目指す組織的な研究・研修などの総称。SD(スタッフ・ディベロップメント)は、大学職員として必要な知識・技能の向上による教育改善の取り組みを指します。

## 異業種外部講師による講演会を オンラインで開催

昨年12月25日、薬学部開講科目「キャリア形成IV」で、異業種外部講師による講演会をオンラインで開催しました。

薬剤師国家試験での合格は、それ自体がゴールではありません。薬剤師資格を取得し、現場で活躍できる専門職業人としてキャリアを積み重ねていくためには他職種理解が大切です。そのため、本講演会は卒業後、多様な業種、職種と協働でき、トップクラスのビジネスパーソンとして社会をけん引できる人材育成を目的に開催。当日は、化粧品メーカー、観光業、薬局薬剤師、メディア関係などの多種多様な登壇者が自身のキャリアパスや業界の市況、その経験で得られたキャリア形成に必要なポイントなどを語りました。

# 看護学部

## オンライン公開講座を開催 看護学研究科

看護学研究科は昨年11月28日、オンラインによる公開講座を開催しました。「ストレスフル社会を生き抜く力」をテーマに、臨床経験を持つ本研究科の3人の教員が講師となり、自身の経験や研究成果を基に講演しました。

1人目の講師、富永真己教授による「看護・福祉職のストレスとコロナ禍での対処法～脳と心を元気にしよう～」では、看護・福祉職におけるソーシャル・サポートによる職業性ストレスの低減やストレス対処法としてのマインドフルネスの有益性などの説明がありました。次に眞野祥子教授による「ストレスと認知のゆがみ～ネガティブな考え方のクセを変えましょう!～」では、認知行動療法やその実践方法などの説明がありました。最後に佐久間夕美子准教授による「働く女性のヘルスケア～家で楽しむCAM～」は、アロマセラピーや心身療法などの総称とされる相補(補完)・代替療法(CAM)に関する説明が

あり、本療法の一つであるヨガについての効果や簡単なヨガ・プログラムなどの紹介がありました。

コロナ禍による過度な緊張や不安がストレスをもたらし、心の不調を訴えるケースが増えています。日常の心の健康を守る上で、この状況をストレスについて考える良い機会と捉え、ウイルスとどう向き合い対処していくかを考えることが大切です。今回の講演はそうした考えや心構えを踏まえて、看護に携わる方自身の心のケアについても見つめ直す内容となりました。

## 看護研究発表会を開催 看護学科

昨年12月25日、4年次生による「看護研究発表会」を開催しました。当初は研究成果をまとめたポスターを掲示して発表する予定でしたが、新型コロナウイルス感染者の急増により、急遽オンラインでの開催となりました。

1人あたり10分のプレゼンテーションと5分の質疑応答を行い、学生間の投票により優秀発表者を選出しました。10人の優秀発表者には「プレゼンテーション賞」として、3月24日に行われる学位記授与式内で鎌田佳奈美学部長から表彰状と副賞を進呈する予定です。

こうした研究活動を重視する看護学部で

の取り組みに卒業生からは「積み重ねてきた研究が臨床現場で非常に役に立つ」との声が寄せられており、着実に将来の看護職の基盤となっています。

## 修士論文発表会・中間発表会を開催 看護学研究科

2月6日、看護学研究科の修士論文発表会と中間発表会を開催しました。修士論文発表会では、2年間切磋琢磨し積み重ねてきた研究活動の集大成を報告。中間発表会では、修士課程1年次生が研究を1年終えた時点での研究のテーマや内容などを報告しました。フィールドワークが自由にできないなど、コロナ禍により大幅な制限がある中で発表者は努力を重ね、発表当日を迎えています。そのため、発表後の質疑応答では、教員からの鋭い質問にも慌てず自らの見解を述べるなど、論理的思考力や問題解決能力、高いプレゼンテーション技術を身に付けていることがうかがえました。研究活動の



成果に加え、研究者としての成長も感じられる発表会となりました。

# 農学部

## 模擬水田での「農学基礎演習」で初めての収穫

昨年9月、全学科必修科目「農学基礎演習」を学科別に実施しました。コロナ禍の影響により、学外水田での実習から枚方キャンパスの農場内に設置の大型コンテナに再現した模擬水田による実習体験に変更し、6月に田植えを、7月には生育状況と害虫発生状況を調査しました。7月の長雨で生育遅延が心配されましたが、8月には穂が出て無事に実りました。

当日はグループに分かれて自分たちが植えたイネを刈り取った後、束にまとめて稲木に掛けるまでの作業を行いました。学生からは「ノコギリ鎌を使うのが難しかった」「イネを束ねるのが印象に残った」「自分で育てたイネを収穫できるのが感慨深かった」などの感想があり、模擬水田での実習においても貴重な体験となりました。12月には大根などの冬野菜も収穫しました。



水田環境を再現したコンテナ内でイネ栽培の演習を行う学生

## SDGs（持続可能な開発目標）に関わる「生命倫理」を学長と学ぶ

全学科必修科目の「生命倫理」では、先端医療技術に関わる生命倫理に加え、私たちが普段食べている動植物の“生命（いのち）”に関わる生命倫理を学んでいます。ペットの“いのち”と家畜の“いのち”の何が違うのか。自然保護と人間、どちらが優先されるのか。これらの哲学的・倫理的な深い課題に、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的・深い学び）の形式で取り組んでいます。

特に今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、複数の教室に分かれてグループワークを行うウィズコロナ時代の対面授業が進む中、学生が主体的に学ぶ授業を展開しています。応用生物科学科のクラスでは、アクティブ・ラーニングを推し進めている荻田喜代一学長が、毎回の授業を担当しています。学生のやる

気を高めながら、ファシリテーターとして学生グループの議論を次々と活性化していきます。SDGs（持続可能な開発目標）に関わる新しい「農学の生命倫理」の学びが進んでいます。



荻田学長（右奥）のファシリテーションによる授業

## 水溶性食物繊維が食後血糖に及ぼす影響を実習 食品栄養学科

昨年12月、「基礎栄養学実習」で、イヌリン（水溶性食物繊維）の血糖上昇抑制効果の実習を行いました。水溶性食物繊維は、水を含むと膨張して体積が大きくなるとともに、トロトロとした粘性の性状になります。これにより食物を包み込み、消化吸収のスピードを遅らせて血糖の上昇を緩やかにします。

実習では、各班の代表者に1週目はイヌリンの入っていないブドウ糖液、2週目はイヌリンの入っているブドウ糖液を飲んでもらい、血糖の上昇の違いを計測しました。食後の急激な血糖の上昇を抑制することは、糖尿病などの生活習慣病の予防において重要なポイントとなります。さらに、イヌリンはビフィズス菌などの腸内細菌のエサとなり、腸の環境も整えます。

本実習では、唾液ででんぷんを消化させたり、精肉店で販売されている生の小腸から消化酵素を取り出したりと、身近な素材を使って健康維持における食品の栄養の大切さを学んでいます。



水溶性食物繊維が食後血糖に及ぼす影響を測定

## まちなか里山プロジェクト～摂南大農物語～のはじまり 食農ビジネス学科

昨年4月、食農ビジネス学科では「まちなか里山プロジェクト」がスタートしました。これは学生と教員が協同して、本学が所有する広大な山林を里山として開墾し、実践的に食農ビジネスを学ぶフィールドとすることを目標として

います。本学科は、生産や産品形成、地域連携、流通、販売などを網羅的に学ぶ「食農ビジネス」を呼称に持つ他にはない学科です。食農ビジネスの広い裾野の起点は「農」であり、その原点は新たな土地を拓く開墾にあります。



農学部棟（8号館）に隣接する山林（写真上部一帯）を里山に開墾

航空写真で見ると、枚方キャンパス周辺にはたくさんの山林が点在しています。元は都市域の中の里山でしたが、分け入ってみるとその多くが荒廃した竹林や雑木林になっています。本プロジェクトでは今後、倒れた竹や樹木を搬出して、植生を間引き、開けた土地を耕して果樹や野菜、ハーブなどを育てていきます。養蜂箱を置き、キノコも栽培します。手入れをした山林に学びの遊歩道を整備します。さらに、枚方キャンパスに無人販売所を設け、タケノコやサヤエンドウ、いずれはブドウやトマト、イチゴ、蜂蜜、キノコなどの販売も予定しています。

日本の暮らしを長年支えてきた里山には、人間が自然と共に生き、自然資源を利用しながら暮らす知恵があります。そうした里山の「農」を追究する「摂南大農物語（せつなんだいのものがたり）」がスタートしています。

## 「摂大農学セミナー」がスタート 多彩なプログラムをオンラインで開催

昨年7月から毎月1、2回、農学部の研究成果を広く知ってもらい、産学官の連携を推進することを目的に、一般公開の「摂大農学セミナー」を開催しています。これまでに、農学部教員2人が最新の研究成果を報告する通常セミナーを8回開催したほか、市民公開講座として外部講師を招くセミナーも3回行っています。食についてや酒、珈琲、地域農産物の加工食品といった身近な題材をテーマに、専門家だけでなく広く一般の方にも分かりやすい内容となっています。

2020年度に実施したセミナー各回の要旨集は、農学部オリジナルサイト「先端アグリ研究所」で公開しています。今後の開催も同サイトで案内します。



<https://www.setsunan.ac.jp/agri/w/agrilabo/>



## ノートパソコンの貸出について

遠隔授業を受講する環境が整わない学生にノートパソコンの貸出を行っています。カメラ付きのノートパソコンで、ヘッドセット（マイク付きヘッドフォン）も貸出可能です。学内であればWi-Fiに接続することで、遠隔授業を受講できます。自宅での利用も可能



（別途申請が必要）です。詳細は、情報メディアセンターまでお問い合わせください。



## 自習室開室状況の確認について

自習室の開室スケジュールについて、今年度より確認方法が変更になりました。本学ホームページ内の情報メディアセンターサイト「利用案内」→「自習室開室カレンダー（PDFファイル）」で開室状況が確認できます。

なお、自習室の利用にあたっては、マスク着用、咳エチケットなどの感染防止対策を行うとともに、利用前後は備え付けのアルコールによる機器の消毒（拭き取り）にもご協力ください。



<https://www.setsunan.ac.jp/~center/>



## プリントステーションの利用方法について

寝屋川キャンパス10号館1階、枚方キャンパス7号館1階にプリントステーションを設置しています。プリントステーションを利用することで、情報処理（演習）室の開室時間外でも課題（ファイル）やレポートの印刷ができます。ネット閲覧や長時間の利用は、他の学生の迷惑になりますのでご遠慮ください。A4サイズ以外の用紙で印刷する場合は、各自で用紙をご準備ください。本学ホーム



ページ内の情報メディアセンターサイトに詳しく紹介しています。



<https://www.setsunan.ac.jp/~center/print/index.html>

## Regional cooperation

## 地域連携

### 由良町の若手職員を育成 長期的視点で 大学が地域活性化に貢献

和歌山県の「大学ふるさと事業」で協定を結ぶ本学と由良町。これまでの地域活性化活動に替わり、本年度からは由良町の若手職員2人を受け入れ、分析能力や政策立案能力を育てる取り組みを始めました。

本事業の担当教員は経済学部野長瀬裕二教授。専門は地域経済や中小ベンチャー企業経営で、若手職員2人に「人口減少や少子化・高齢化が進む地域において、どうすれば持続可能な地域やそのための仕組みをつくることができるか」をテーマに、実在の企業

分析や地場産業振興なども行いながら、「COLLABO-Yura」と名付けたゼミ形式で講義します。

期間は2年間で、「移住・定住」「雇用創出」など、それぞれが日々の業務や実体験を通じて設けた独自のテーマについて研究



「COLLABO-Yura」のゼミの様子。  
今年度はオンラインで実施

を進め、次年度には役場内における成果報告や研究事業への応募を目標としています。

今回の取り組みは、町おこしイベントのような短期的かつ非日常（＝「ハレ」）の活動にとどまらず、長期的な視野に立つて産業振興などの地味な日常（＝「ケ」）に関わる戦略を立案できる人材の育成を目指す両者の考え



が形となったもの。6年計画で2年ごとに2人の職員を受け入れ、由良町の持続的な発展に貢献していきます。

野長瀬教授から講義を受ける由良町の若手職員

## 学生生活 Student Life

### 2020年度「摂大文化大賞」が決定

図書館では、昨年12月15日に図書館寝屋川本館のラーニング・コモンズ・ステージを会場に「摂大文化大賞」の発表と表彰式を行いました。

この賞は、学生の文化的創作活動を奨励するために設置しているもので、①文芸②美術・工芸③写真④その他の4部門に

毎年力作の応募があります。

今年度も9月～10月に募集し、計17点の応募がありました。これら作品の中から、学生・教職員による投票と図書館運営委員会による審査により、「摂大文化大賞」は、岩橋正磨さん（外国語学科3年）代表の6人の共同制作による文芸作品「本が読みたくなる本」に決定しました。

そのほか、各部門から優秀賞と準優秀賞が、



また審査員特別賞として1点が受賞し、合計6作品が各賞に輝きました。表彰式では、小山昇図書館長（法学部教授）が受賞者に、賞状と賞品を授与しました。



表彰式で受賞者たちと

摂大文化大賞  
受賞者  
岩橋さん



## 就職内定者インタビュー

内定先

財務省大阪税関（国家公務員一般職・行政職）

法学部 法律学科  
篠崎 加奈さん

### “漠然”から明確な目標へ 公務員試験に向けた 努力から結び付いた進路

高校生の頃から漠然と「国の安全を守る仕事に就きたい」という思いがありました。法学部に入学し、将来のキャリアを見据えながら法律を学ぶカリキュラムを通して、「国家公務員として社会問題の解決に貢献したい」と意志が固まってきました。国家公務員試験につながる大学での多様な講義や問題演習などに力を入れるとともに、3年次からは予備校にも毎日通いました。自分に合う職種を探すため参加した業務説明会で、国境の最前線で銃器や不正薬物などを取り締まる税関職員の使命と責任の重さを知り、高校時代からの思いが具体的な進路に結び付いていきました。国家公務員行政職の試験では幅広い法律知識、数的処理や物理などの教養知識が求められます。毎日のハードな勉強に心身ともにまいってしまったり、コロナ禍で試験が何度も延期になり挫けそうになる時もありましたが、先生と一緒に試験を受ける仲間を支えられて乗り越えることができました。皆さんも自分のしたいことを早く見つけ、時間を無駄にせず、能力を最大限に高めて価値あるものにしてください。

内定先

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

外国語学部 外国語学科  
福永 真巳さん

### 自己分析をしっかりと行い 私を採用するメリットを 明確にアピール

就活でまず力を入れたのが自己分析です。就職部の皆さんに助けられながら、自分の性格、頑張ってきたこと、目指すことなどを掘り下げていきました。私の強みは苦手なことに正面からチャレンジできること。大学では、不得意な英語をマスターしたくて、外国語学部の英語プロフェッショナルコースを選択。このコースは2年次に半年以上の海外留学が必修で、帰国後は語学科目に加え人文科学・社会科学領域も英語で学びます。生きた英語があふれる生活はワクワクがいっぱいで、英語に対する苦手意識を克服できただけでなく成長の喜びと自信を得ることができました。新しいステージでは「苦手なパソコンを活用して価値を生み出したい」とシステムエンジニアを志望しました。企業研究も徹底して行い、伊藤忠テクノソリューションズの社風や制度、さまざまな国と地域に顧客を持つグローバル企業である点に、働きやすさや成長の可能性を感じました。面接では「私を採用するメリット」と志望動機を、熱意と説得力を持って伝えることができ、その結果内定を手にしたと実感しています。

内定先

株式会社大林組

理工学部 建築学科  
宮脇 璃司さん

### 仕事や職場の雰囲気を 体感し、志望の意志が 高まりました

当初から建設会社を希望しており、3年次の9月から5社のインターンシップに参加しました。その中で、建物ができあがっていく過程を間近で見られる施工管理の仕事に惹かれました。大林組ではオフィスビルとホテルの建設現場を見学し、スケールの大きさとともに、施工管理の方が担当の建物について誇りと愛着を持って語られる様子や、現場で働く人同士の距離が近く楽しげに会話されている雰囲気に魅力を感じました。その後、3月初めにエントリーシートの提出と適性検査があり、筆記試験、グループディスカッション、1次面接、最終面接を経て4月中頃に内定をいただきました。就活で苦労したのはエントリーシート。文章力に自信がなく、就職部での指導をはじめゼミの先生には何度も添削していただきました。就活のカギとなったのはやはりインターンシップだったと感じています。会社概要や設計施工の実績などの情報は企業のWebサイトで得られますが、仕事や職場の魅力を体感でき、「ぜひここで働きたい」と確信できたことが内定につながったと実感しています。

内定先

関西電力株式会社

理工学部 電気電子工学科  
尼丁 健太朗さん

### インターンシップを通して 企業研究と自己成長が できました

私の就活は3年次の6月から8月にかけて合同説明会に参加し、希望の業種と職種を探すことからスタートしました。自身の長所と大学での専門性を活かして社会に貢献できる仕事として、電気設備関連の施工管理に興味を持ち、3年次の後期は12社のインターンシップに参加しました。同業種各社の特性などが分かり、志望企業と動機が明確になっていきました。さらに、多くの尊敬できる方々と出会い、仕事に対する考え方や姿勢に触れ自身の成長にもつながりました。エントリーシートや自己アピール文を作成する際には、1年次から実験実習のレポート作成を繰り返すことで培った、考察し要点をまとめる力が大いに役立ちました。摂南大学の良さは、教職員の方々と学生との距離が近いところ。先生方が学生一人ひとりの就活状況を気に掛けてくださり、就職部では面接練習や各企業の情報提供など手厚くフォローいただくなど心強かったです。疑問や不安を理由に動かずにいると進歩がありません。立ち止まることなく先生や就職部の方々に相談するなど行動すれば、きっと次の一歩につながります。





内定先

株式会社りそな銀行

経済学部 経済学科

安達 光希さん

### 就活を通して 自分を深く考える 貴重な経験ができました



社会や個人にとって不可欠なお金を扱う金融機関で働きたいと考え、業界を絞って就活を始めました。エントリーシートの提出はもちろん適性検査の受験がほぼ必須だったため、就職部の履歴書指導や授業での数学問題などの対策が大変役立ちました。ただ、第一志望の企業を決めきれずにいたことや、コロナ禍で対面での説明会の多くが中止になったことで戸惑いもあり、面接では志望理由がうまく伝えられず厳しい指摘を受けたこともありました。落ち込みながらも、就職部での丁寧な指導や友人の励ましの言葉に力をもらって前向きに反省点を分析し臨み続けました。自分という人間について初めて深く考えた貴重な経験でした。そんな中、りそな銀行では採用担当の方が親身に話を聞いてくださり、私自身の人間性を見ていただけた実感があり、「ぜひここで働きたい」と志望の意志が高まりました。オンライン面接など就活状況が変化する中、不安を感じることも多いと思いますが、疑問や課題を一つひとつ解決することで自分に自信を持ち、焦らず就活を進めていってほしいと思います。

内定先

日本電気株式会社 (NEC)

経営学部 経営情報学科

中村 光さん

### 経験から学ぶ 「量」を意識して 臨んだ就活



子どもの頃から柔道を続けていて、大学入学後も柔道部で日々練習に打ち込んできました。1年次で出場した大阪府の大会では決勝に進むも逆転で敗退。対戦相手の選手は翌年全国大会に出場を果たし、目覚ましい成長を遂げました。実力の開きにショックを受けるとともに、自分の5倍の練習量をこなしていると聞き、以来何事にも「量」を意識して取り組みました。オーストラリアの選手との交流を機に取り組んだ英語の勉強も、できる限り多くの時間を確保してTOEIC835点の結果を出すことができました。就活も就職部で何度も面接練習をしていただき、NECのオンライン説明会には7回参加。回数を重ねる中で、自己分析や企業研究が深まり志望の根拠が明確になりました。自己PRでは「柔道歴15年と英語力」を軸に他の学生との差別化ができ、自分を伝えられたと思います。反省点は多忙を理由にインターンシップに参加できなかったこと。経験することで圧倒的な量の情報が得られ発見や成長があります。皆さんにはぜひ積極的に参加してほしいです。

内定先

大阪医科大学附属病院

薬学部 薬学科

出口 名都美さん

### 緊張と不安のオンライン面接 素直に思いを伝えることに 徹しました



5年次の「薬学臨床実習」では、患者の方への投薬業務に加えて、病棟業務や薬剤情報の提供なども経験し、チーム医療の一員としての役割と責任、患者の方に接する姿勢を学びました。この経験がきっかけとなり、病院薬剤師を目指すようになりました。コロナ禍において、大阪医科大学附属病院でもエントリーシート提出後の一次試験は経験のないオンラインによる面接でした。予期しない慣れない状況に緊張と不安が大きかったのですが、「医療の現場で患者一人ひとりの方の健康をサポートしたい」という初心を素直に、そして明確に伝えるよう心掛けました。筆記試験と最終面接は大阪医科大学内で行われ、専門的な問題が多い筆記試験では日頃の授業の成果を活かすことができました。面接でも、授業のグループワークで培った自分の意見を確立し発表する力が発揮できました。就活の時期は卒業論文の追い込みの真っただ中で、私自身も十分に準備の時間が取れませんでした。コロナ禍の影響が不透明なことも考えて余裕を持って準備し、自分の目指す道を自信を持って進んでいってください。

内定先

関西電力株式会社 関西電力病院

看護学部 看護学科

吉本 健吾さん

### 就活に大いに活かせた 授業や実習で培った 傾聴力や表現力



3年次の「成人看護学実習Ⅱ」で3週間にわたり関西電力病院で看護の実践を経験しました。医療者同士のカンファレンスが盛んで優しい笑顔があふれる病棟で、私の第一志望の病院となりました。就活準備としては早い時期から枚方事務室就職係で履歴書の添削を受け、面接練習に励みました。学部の友人とも電話などで面接練習を繰り返し、多様な質問に対応できるようになりました。看護学部の授業はグループワークや発表、病院での実習の機会が多く大変でしたが、傾聴力や表現力、社会人としての立ち居振る舞いなどが身に付き就活にも役立ちました。大学入学当初は広島から一人で大阪に来て不安でいっぱいでしたが、すぐにたくさんの友人ができ、先生方との距離も近く、今では卒業が寂しいと感じるほど密度の濃い充実した学生生活でした。そんな学部の学びや就活準備を頑張ってきたことを思い出し、「悔いのないようにやり切ろう」と意気込みを持って面接に臨みました。就活に不安は付きもの。時には友人や先生に相談する勇氣も大切です。自分だけで悩まず、みんなで支え合いながら頑張ってください。

# 就活・進路内定状況

## 2022年 卒業・修了見込生の就活本格化

### ～採用動向について～

リクルートワークス研究所が昨年10～11月に行った「2022年新卒者を対象とした採用見通しに関する調査」によると、回答した民間企業4,516社のうち、新卒採用数が「増える」企業は7.7%、「減る」企業は11.6%でした。「減る」が「増える」を3.9ポイント上回っており、10年間続いた採用数増加傾向は一段落となりました。「分からない」とする企業も26.1%に増加。2012年卒以来の高さで推移するなどコロナ禍の影響による採用数決定の遅れが見られました。しかし、採用数に対する姿勢としては、採用実施企業のうち「毎年同程度の人数を採用する」が47.3%で最も多く、引き続き必要な人材を確保していく方向性であると考えられます。

- 学内企業説明会 (Web)  
3月10日～17日・寝屋川キャンパス
- 病院フェア (Web)  
4月10日・薬学部
- 連携4病院座談会  
3月9・10日・看護学部
- 個別面談・随時実施中
- 模擬面接・随時実施中 (予約制)

## 2021年 卒業・修了生の進路内定状況

### ～未内定学生対象のガイダンス実施も～

3月1日現在、本学の就職内定率は83.1% (文系77.1%、理系91.9%)となっています。変化する状況への対応が求められた2021年卒の就活。さまざまな事情で進路未内定のまま卒業・修了する学生を対象に、寝屋川キャンパスでは卒業後の本学サポートや外部機関利用方法などを伝えるガイダンスを3月22日にWebで開催します。なお個別サポートは両キャンパスで継続して随時実施していきます。

### ～就活について～

2022年卒業・修了見込生の就活については、政府主導のルール「3月広報解禁、6月選考開始」がベースとなっており、3月1日の就職情報サイトにおける採用情報公開と同時に、企業のエントリー受付が始まっています。

就活学生には、就職情報サイトが主催する合同企業説明会、大学主催で行う学内合同企業説明会、企業が単独で実施する個別説明会を積極的に活用して、業界・企業・仕事を“知る”機会を一つでも多く持つことを勧めています。活動する中で“自分の会社選びの軸”が明確になることも少なくないからです。理工学部、薬学部、看護学部の学生は、実習や研究と就活の両立が心配されますが、だからこそ、受け身にならず自分から動くことが大切です。

採用選考は、昨年に続き、直接会う＝対面と、オンライン＝非対面の両方を取り入れたスタイルが主流になり、ネットワーク環境整備が不可欠です。学生にとっては移動時間や交通費の負担が減るメリットもあります。

就職部・枚方事務室就職係では、エントリーシート履歴書添削・進路相談・模擬面接練習などのサポートを、対面だけでなくWeb・メール・電話を活用し実施しています。不安や悩みが絶えない就活。学生にとって最も身近な社会人である保護者の皆さまのご理解・ご支援をぜひともお願いします。

### 『保護者のための 就活サポートバイブル2020』

保護者だからできるサポートや就活の流れを  
本学ホームページに掲載しています。



<https://www.setsunan.ac.jp/shushoku/>

### 奨学金出願書類配布日程

|     | 奨学金の種類                                      | 対象学部・研究科                            | 年次  | 日時                          | 場所                         |
|-----|---------------------------------------------|-------------------------------------|-----|-----------------------------|----------------------------|
| 学部  | 日本学生支援機構(貸与)奨学金                             | 全学部                                 | 全年次 | 4月6日(火)～9日(金)<br>9:00～17:00 | 寝屋川キャンパス<br>学生課(2号館2階)     |
|     | 高等教育の修学支援制度<br>(日本学生支援機構(給付)<br>奨学金・授業料等減免) |                                     |     |                             | 枚方キャンパス<br>枚方事務室(1号館1階)    |
| 大学院 | 日本学生支援機構(貸与)奨学金                             | 理工学研究科・経済経営学研究科・<br>法学研究科・国際言語文化研究科 | 全年次 | 4月1日(木)<br>15:10～15:40      | 寝屋川キャンパス<br>1122教室(11号館2階) |
|     |                                             | 薬学研究科・看護学研究科                        |     | 4月2日(金)<br>11:00～11:30      | 枚方キャンパス<br>432教室(4号館3階)    |

●上記の奨学金を希望される方は、上記日時に書類を受け取りにきてください。出願方法の詳細は動画配信(3月下旬にポータルサイトで通知予定)します。

●学内一般奨学金(給付制・学部2年次生以上対象)の募集については、5月頃にポータルサイトで通知予定です。

●大学院学内奨学金(給付制・大学院全年次対象)の募集については、5月頃にポータルサイトで通知予定です。

注1:高等教育の修学支援制度を希望する学生は、日本学生支援機構ホームページ内の「進学資金シミュレーター」(<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>)の「保護者の方向け」のシミュレーション結果を印刷の上、上記日時に持参ください。

注2:奨学金に関する連絡は学生向けのポータルサイトにより行います。見落としなどは各自の責任になりますので、毎日確認を習慣づけてください。奨学金出願書類配布日程を変更する場合もポータルサイトにより行います。

注3:貸与奨学金は卒業後返還が必要です。給付奨学金であっても成績不振・大学処分を受けた場合は、返還が必要になることがあります。



## 2020年度秋期教育懇談会を開催

2020年度秋期教育懇談会(摂南大学後援会主催)を昨年10月から11月にかけて、本学会場、学外5会場で開催しました。対面形式で実施した本学会場では、新型コロナウイルス感染症対策のため飛沫感染防止パネルや手指消毒液を設置し、個別懇談ブースは十分な距離を確保したうえで実施しました。学外会場では、会場と本学をオンラインでつなぎ、参加された皆さまにはビデオ通話で本学教員と懇談いただきました。

本学寝屋川・枚方の各会場は2日に分けて開催予定でしたが、このうち10月10日の寝屋川会場(対象学部:理工学部、外国語学部)は台風の影響で中止となりました。しかしながら、全会場合わせて260組346人の保護者および保証人の皆さまにご参加いただきました。

今後も教育懇談会を通じて保護者の方々と大学との架け橋となる活動を行ってまいります。

## ■ 2020年度開催会場(年間)

## ● 春期教育懇談会

(新型コロナウイルス感染症拡大により中止)

## ● 秋期教育懇談会

本学会場(寝屋川・枚方)

学外会場(高松・広島・米子・福岡・奈良)

## 教育懇談会とは

摂南大学後援会では、ご家庭と大学の連携の一つとして、学部学生の保護者および保証人を対象に教育懇談会を春と秋の年2回開催しています。

教育懇談会では、教員との個別懇談の機会を設けております。教員は事前にご子女と面談し、日頃の学修の状況などを把握したうえで懇談に臨んでいます。また、教育懇談会は、ご子女が在籍している同じ学部学科の「保護者同士の交流の場」としての意味も有しています。参加された保護者からは「同じ悩みを持った保護者と情報交換でき、大変参考になった」と感想が寄せられています。今抱えている問題や心配事、質問などがございましたら、ぜひ、この機会をご活用ください。

## 本学ホームページ 後援会サイト

<https://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/>



## 2020年度 秋期教育懇談会の様子



個別懇談(本学会場)



個別懇談(学外会場)

## 高松

今回は、新型コロナウイルス感染症対策ということで、学外会場では、大学とのビデオ通話による個別懇談のみとなりました。担当の先生からは、単位取得の状況や取得できる資格に関することをはじめ、アルバイトを含めた生活面まで幅広く教えていただきました。コロナ禍における授業や学校生活に不安がありましたが、担当の先生の話聞いていくうちに、前期のオンライン授業の様子なども把握でき、不安も解消されました。貴重な機会をいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 枚方

毎年春期と秋期のいずれにも参加し、担任の先生との面談など貴重な時間を過ごさせていただいております。今年度は20分間と短い時間になりましたが、色々な状況を聞くことができましたこと感謝しております。子どもにはさらに勉学に励み向上していけるよう、親としてサポートしていきたいです。次回も参加したいと思いますので、大変な時期ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 福岡

毎年参加させていただいています。コロナ禍という想像もなかった状況に見舞われ、オンライン授業や友達との交流について心配していた中、ビデオ通話ではありましたが、担任の先生から、学校での様子、成績、薬剤師国家試験のこと、今真っ最中の研究室選びのことなどをお聞きでき安心できました。少人数による担任制のおかげで、一人ひとりきめ細かく学生を指導いただいていることに感心しました。

現地で運営業務にあたられていた後援会役員の方々にも、ご自身のご家庭での経験を交えて、的確なご意見を聞かせていただきました。まさか大学生になってこんなに手厚く遠方の保護者にサポートしていただけるとは思っていなかったもので、感謝しております。

保護者の  
皆さまからの  
ご感想

参加された保護者の  
皆さまからの  
寄稿の一部を紹介します

## 寝屋川

コロナ禍にもかかわらず、開催いただき感謝しております。保護者が大学のことを理解できる機会があることは大変嬉しく、今後も続けていきたいと思っています。今回は、教員との個別懇談のほか、就職相談にも参加しましたが、実際に就職担当の方とお会いして個別に就職指導していただいていることも分かり、安心しました。

# 2021年度 入学宣誓式を行います

新型コロナウイルス感染症対策を講じうえて、  
下記の通り入学宣誓式を実施します。

**日 時**：2021年4月7日(水)

**場 所**：大阪城ホール(大阪府中央区)

※新型コロナウイルス感染症対策による会場収容人数の関係上、保護者の方は  
ご入場いただけませんので、何卒ご了承ください。(待合室等もございません)  
※詳細については、摂南大学ホームページにて最新情報をご確認ください。



## 内 容

- 在学生による「ダンス・音楽パフォーマンス」  
「先輩からのメッセージ」など
- 在学生・教員から新入生への  
「タスキリレー」など

新入生歓迎行事は、  
在学生による企画・進行でお届けします。

## 2020年度 学位記 授与式

**実施日**：2021年3月24日(水)  
**場 所**：寝屋川・枚方キャンパス

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施時間・  
場所の分散などの対策を講じうえて実施します。  
保護者の方のご参列はご遠慮ください。  
※詳細については、摂南大学ホームページにて最新情報をご確認ください。

## 2023年4月開設 現代社会学部 〔設置構想中〕

学部設置に合わせて、  
本学が推進するアクティブ・ラーニングを中心とする  
新しい学びのスタイルに相応した教育環境を  
備える新校舎の建設も計画しています。

- 設置位置 寝屋川キャンパス  
(大阪府寝屋川市池田中町17番8号)
- 入学定員 250人(収容定員1000人)程度
- 分野構成 ソーシャルイノベーションコース  
ライフデザインコース  
メディアコミュニケーションコース

※設置計画は予定であり、変更になる場合があります。

本学園並びに本学の取り組みにご支援をお願いします。

## 学園創立100周年記念募金

2022年、常翔学園は創立100周年を迎えます。  
これを記念し、摂南大学の教育および研究の振興・充実を図るため、  
下記の記念事業を計画しています。  
皆さまからのご支援を賜りますようお願いいたします。

### 摂南大学の推進事業の種類

- キャンパス整備事業
- 奨学金充実事業
- 学校運営支援事業
- 課外活動支援事業
- プロジェクト支援事業
- ①学生支援プロジェクト
- ②地域連携支援プロジェクト
- ③Smartキャンパス整備プロジェクト



### ● 募金に関する情報

<https://www.josho.ac.jp/100th/donations/>

## 2022年4月、2学部が改組します

### 国際学部 国際学科

外国語学部から国際学部になります。

グローバル化、ボーダレス化が進む世界におけるさまざまな課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材育成を目指します。そのために必要な、語学力だけでなく異文化理解も深め「グローバルリテラシー(国際対話能力)」を身に付けた国際人を育成します。

### 経営学部 経営学科

2学科を1学科に統合し、新しい4つのコースに変わります。

- マネジメントコース
- ICTビジネスコース
- マーケティングコース
- 会計・ファイナンスコース

専門的な4コースの学びで、データを分析し読み解く力を養成するとともに、経営に関する理論・実践の専門知識を身に付けた各分野のプロフェッショナルの人材育成を目指します。

## さ や け き

### 「さやけき」とは

「さやけき(清けき)」は、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さやけき摂南の」の詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

### 表紙の人

昨年3月に完成した東グラウンド、11月末に完成した部屋棟2で活動する体育会所属の学生たち。写真左から、隈元添太さん(ラグビー部)、中居陽亮さん(アメリカンフットボール部)、小林美咲さん(ラグビー部)、大畑颯太さん(ホッケー部)、倉中雅菜さん(陸上競技部)、片山勇輝さん(サッカー部)、岸本一真さん(陸上競技部)(本誌P2・3でも紹介しています)

～摂南大学は2025年に創立50周年を迎えます～

Smart and Human  
摂南大学



- 法学部
- 外国語学部
- 経済学部
- 経営学部
- 理工学部
- 薬学部
- 看護学部
- 農学部(2020年4月開設)
- 大学院
- 現代社会学部(仮称・2023年4月設置構想中)

発行日：2021(令和3)年3月10日  
発行：摂南大学 学長室 企画課  
〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8  
TEL：072-839-9450  
URL：<https://www.setsunan.ac.jp>